

東新工業株式会社



世界的技術レベルで
最先端の電子部品を
めっき加工

神奈川県
横浜市金沢区福浦2-10-13

1969年(昭和44年)設立
TEL 045-785-1800

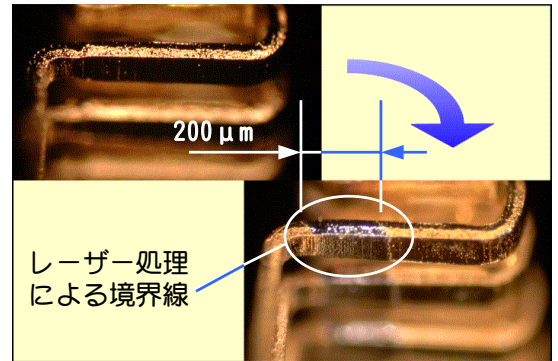
代表取締役社長
山崎 慎介

<http://www.toshin-ind.co.jp/>

自社で開発した加工技術と生産設備を用いて、低コスト、高品質、短納期が要求される微小電子部品を μm オーダーで加工

環境への配慮から創造された μm オーダーの加工技術

電子部品の小型化と環境への配慮から、鉛フリー対応の微小コネクタの開発が推進されている。鉛フリー対応の微小コネクタは端子全体に金めっきを付けていた。しかし、コネクタ端子を基板に実装する際に、はんだが接点部に向かって広がってしまう問題が発生するため、端子の接点部とはんだ付け部を区分する境界線を作る必要性が高まった。そこで、当社では境界線を μm オーダーの精度で加工する技術を開発した。



長年培ってきためっき技術と新開発した加工技術を200 μm の領域に融合

同社では、微小コネクタ端子の接点部とはんだ付け部の境界線(幅200 μm)を、レーザー処理で形成する技術を開発した。この技術は当社固有技術である薄膜めっき形成技術と、新開発したレーザー処理技術の融合により実現した。そして、この技術は携帯電話をはじめとするモバイル製品などの小型化と、落下時にも故障しない耐衝撃性能の向上に貢献している。

顧客のニーズを第一に考えた技術開発

顧客のニーズを第一に考えて、少数精鋭による短期技術開発をすることで、市場の大きなシェアを獲得している。

年間1人1件の開発を担当者が計画から量産化までを行うことで、魅力的な人材の育成にもつながっている。

